

平成 29 年度 研究サマリー

研究会名称	ROD-21 研究会	
代表者所属	福岡腎臓内科クリニック	
代表者氏名	谷口 正智	
<研究方法> 慢性腎臓病に伴う骨ミネラル代謝異常（CKD-MBD）に関する知見に関して，他施設の医師に参加いただき，若手医師の新規研究について考察することや，他分野のスペシャリストの先生を招請して年 2 回の研究会を開催している。		
<研究成果> 平成 29 年 2 月 4 日 第 35 回 ROD-21 研究会を開催した（東京都）。 一般演題 1. 「血清 FGF23 値が透析患者の ESA 抵抗性に及ぼす影響－東海コホート研究－」（東海大学医学部 腎内分泌代謝内科 濱野直人） 2. 「透析患者における Mg と CKD-MBD との関連性について」（東京慈恵会医科大学附属第三病院 腎臓・高血圧内科 中島章雄） 3. 「破骨細胞活性化と破骨細胞/骨芽細胞カップリング SphK1/S1PR3 シグナルを介した骨形成促進機構の検討」（大阪市立大学大学院医学研究科 代謝内分泌病態内科学 永田友貴） ミニレクチャー 「小胞体ストレスによる血管石灰化」（徳島大学大学院医歯薬学研究部 臨床食管理学分野 助教 増田真志） 特別講演 「Wnt シグナルによる骨代謝制御」（東京慈恵会医科大学 整形外科 助教 前田和洋） 平成 29 年 8 月 19 日 第 36 回 ROD-21 研究会を開催した（福岡県福岡市）。 第 1 部： 演題 1：「保存期腎不全患者に対するカリウム吸着材が CKD-MBD に与える影響の検討」（久留米大学医学部内科学講座腎臓内科部門 中山陽介） 演題 2：「実臨床における CKD-MBD—PTH の逆襲」（県立西宮病院腎臓内科 米本佐代子） 第 2 部：「骨代謝における骨細胞の役割」（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 生命医学講座 細胞生物学分野 教授 小森嘉文） 第 3 部：「FGF23 と CKD-MBD」（徳島大学 先端酵素学研究所 分子内分泌学研究分野 特任教授 福本誠二）		

<掲載雑誌>

1. Nakayama Y, Ueda K, Yamaguchi S, et al: Compared effects of calcium and sodium polystyrene sulfonate on mineral and bone metabolism and volume overload in pre-dialysis patients with hyperkalemia. Clin Exp Nephrol 2018 Feb;22(1):35-44
2. Nakashima A, Ohkido I, Yokoyama K, et al: Proton Pump Inhibitor Use and Magnesium Concentrations in Hemodialysis Patients: A Cross-Sectional Study. PLoS One. 2015;10(11):e0143656.